

- **対応**：食事の内容の調整. 食器や器具の調整. 食べる環境の調整, 歯科の受診.

### 【孤独・不安】

- **原因**：被災状況・家族の状況・家財の状況はどの程度なのかが不明で不安.
- **対応**：
  - ・ 原因/背景を理解する. 食欲があるか, 睡眠が摂れているかの確認.
  - ・ 話し相手になる.
  - ・ 医療班に伝え, 内服などの治療を行う.
  - ・ 心のケアチームへの対応を依頼する.

## 3 妊 婦

- 助けが必要な妊産婦がいないかどうかを呼びかける.
- 助けが必要な人がいたら, 状況を聞きにそばに行く.
- 現在の状態を把握する：月齢／合併症／これまでの経過／初産・経産の別など.
- 切迫流産・切迫早産などが疑われる場合は, 早期の搬送を依頼する.

### 【交通遮断・通信途絶などで, 搬送ができない場合】

- 安静にして待機する.
- 妊婦は不安が強いので, 家族などの付き添いが必要.
- 頻回に様子を見に行く.



**POINT** 搬送不能の際には、避難所で出産してしまう可能性が出てきます。お湯や清潔な布など確保できるかどうか周囲に頼みましょう。被災を免れた民家などに協力を得たり、物資を調達したりします。

## 心得 **Do!** すべし

母子手帳を確認。

母子手帳なければ必要項目（状態・既往歴・症状）をメモ。

最初はいなくても、後から避難所に来たり、助けが必要になる人もいますので気をつける。後から来た人のほうが条件が悪いことが多い。

## 4 乳幼児

乳児や幼児はとくに保護や支援が必要。乳幼児は、大人と同じものを飲んだり食べたりできない。外見からも分かるが、支援が必要な乳児や幼児がいないか、声を掛けてあげると周囲の人も認識し、支援しやすくなる。

### 【乳幼児の観察項目】

- 顔の発赤・早い呼吸：**発熱**。
- かさかさの唇・眼のくぼみ：**脱水**。
- ずっと泣いている・早い呼吸：**不安**。
- 痛み・腫脹：打撲・**外傷**。
- 唇のチアノーゼ・震え・冷感：**低体温症**。

## 3

避難所での心得  
6 特別に注意が必要な人への対応